



令和6年1月10日

# 蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校  
文責：校長 柿林 浩彦

第37号

## 安心・安全な学校を目指します

### ～いじめの早期発見・早期解決～

12月に生徒及び保護者の皆様を対象に「いじめ・体罰・セクハラ等の防止に関するアンケート」を実施しました。このアンケートの目的は、いじめ等を早期発見・早期解決するとともに、いじめ等は絶対に許さないという学校の風土を、生徒・保護者の皆様、そして、全教職員で作り上げ、安心・安全な学校を目指すことにあります。

特に、「いじめ」については昨今大きな社会問題となっています。呉市においては「いじめ」の定義や具体例を分かりやすく示したアンケート用紙に変更しております。今回のいじめアンケートの結果ですが、本校において「いじめ」をされたり、「いじめ」を見たりという回答はありませんでした。しかし、この結果に安心しているわけではありません。

現在、学校現場では積極的に「いじめ」を認知することで、早期発見・早期解決しようとしています。そのため、いじめの認知件数が0ということは、「いじめを見つけていない」「いじめに気付いていない」のではないかと危惧するようになっていきます。岡山県教育委員会が作成した資料では、「いじめの認知件数 = 子どものつらい思いに寄り添った数」と示されています。

ただし、本校は教育相談が大変充実しており、学級担任はもちろん、養護教諭、スクールカウンセラー及び校長も個人面談を行い、子どもたちの様子を把握しようとしています。

子どもたちは、仲間や先生方の支えがあったり、学校の様々な場所や場面で「居場所」があったりすれば安心できます。例えば、学級集団の中での「居場所」や、授業や部活動などの場面での「居場所」があることなどです。



文部科学省は10月4日、「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果を公表しました。調査結果には、小・中学校における不登校児童生徒数は299,048人（前年度244,940人）であり、前年度から54,108人（22.1%）増加し、過去最多となり、在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は3.2%（前年度2.6%）と示されていました。「不登校」とは、長期欠席者（年間30日以上欠席者）のうち、何らかの背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況を言います。何らかの背景や原因として、「いじめ」は絶対にあってははいけませんし、教職員の指導や言動が原因になってもはいけません。最も大切なことは、登校できない状況の時にどのような指導・支援ができるかだと考えています。

国は平成28年に「教育機会確保法」を制定し、「全ての児童生徒が安心して教育を受けられる学校の環境の確保」「年齢・国籍にかかわらず能力に応じた教育機会の確保」などを理念に掲げています。（パンフレットを配付しますので、ご覧ください。）

本校では、全ての生徒の皆さんに対して、「社会的自立」「居場所づくり」「学習支援」を行い、安心・安全な学校にすることに邁進してまいります。

## スクールカウンセラー 山路 博文 先生へ気軽にご相談ください。

今年度は、スクールカウンセラー（SC）として、山路 博文（やまじ ひろふみ）先生に勤務していただいております。山路SCには、生徒が学校に居場所があると感じ、元気に学校生活を送ることができるよう、定期的にカウンセリングをしていただいております。また、授業を観察していただいたり、ソーシャルスキルトレーニングを行っていただいたりもしています。



どんな些細なことでも結構ですから、カウンセリングのご希望があれば気軽に学校（教頭、養護教諭、学級担任など相談しやすい先生で結構です。）へご連絡ください。相談された内容は遵守しますので、ご安心ください。

なお、今年度の残りの来校予定日は次のとおりです。

月日	時間帯
1月9日(火)、1月16日(火)、1月23日(火)	8時05分～16時35分
1月30日(火)	8時05分～9時50分
2月6日(火)、2月20日(火)	8時05分～16時35分